

平成27年5月25日

香川県ミニバスケットボール連盟
加盟チーム関係各位

香川県ミニバスケットボール連盟

ゾーンディフェンスの禁止について（お知らせ）

平成27年度「第47回全国ミニバスケットボール大会」より、ゾーンディフェンスが禁止になります。それにもない、平成27年度「第36回四国ミニバスケットボール大会」も同様に運営することとなりました。

【現在の状況とゾーンディフェンス禁止の方向になる背景】

FIBA MINIの規則（国際ルール）に、日本ミニバスケットボール連盟の規則が違反しています。このことを重く見たFIBAに、ゾーンディフェンスについて日本ミニ連が説明を行いました。（別紙「FIBAへの説明・要望事項等」参照）

【香川県ミニバスケットボール連盟の方針】

香川県ミニバスケットボール連盟では、ミニバスケットプレイヤーのよりよい育成の観点からもマンツーマンディフェンスをしっかりと身に付けさせることは大切であると考えます。

子どもたちが、ボールを見て、マークマンを見てディフェンスし、一生懸命ボールを追いかけることが理想の姿です。ゾーンディフェンスは有効な戦略・戦術ですが、決まった場所を守る消極的なディフェンスであるとも言えます。そして、昨今マンツーマンディフェンスが身に付いていない子どもたちが目立つようになってきているのも事実です。子どもたちの将来を考えると、「身に付けておかねばいけない基本的な技術（オフェンス、ディフェンス両方）とは何か。」「バスケットボールの本当の楽しさとは何か。」を伝える必要があります。

そこで、当連盟としては、今年度の県大会からゾーンディフェンスを禁止していくことにしました。ゾーンディフェンスとマンツーマンディフェンスの明確な線引きは困難ですが、マンツーマンディフェンスの考え、動き方、的確なポジション取りなど基本的なことをしっかりと子どもたちに身に付けさせていただきたいと思えます。（別紙「マンツーマンDFについて」参照）

日本ミニ連よりは、今後DVDなどの資料を各県に配布する予定と聞いています。県ミニ連としましても、手探りの状態でスタートとなりますが、各地区および各チームの指導者の皆様には、これらの趣旨を理解していただき、子どもたちのより良い育成に力を注いでほしいと願っています。

【イリーガルディフェンスの対応について】

ゾーンディフェンスかどうかの判断は、各会場の理事等が行います。罰則は設けませんが、必要に応じてクォータータイムやゲームクロックが止まっているタイミング等で指導を行います。明らかにゾーンディフェンスと分かる場合は、試合を止めて指導する場合があります。

特に、四国大会・全国大会に推薦するチームについては、香川県代表として、チーム力・マナーだけでなく、ゾーンディフェンスに抵触することのないチームを推薦する予定です。

別紙参考資料 「月刊バスケ6月号 臨時増刊」 ミニバスケットボール界に訪れる改革
日本ミニバスケットボール連盟理事長 坂本昌彦氏 コラム